【様式３-１】

公益財団法人 樫の芽会　御中

令和６年度伴走型就学・学習支援活動助成　実施報告書

【団体の概要】

		①　作成日	令和 7 年 5 月 25 日
②法人・団体名	特定非営利活動法人 cocoro 会議		
③団体所在地 （都道府県・市町村名まで）	〒090-0801 北海道北見市春光町５丁目１４－3		
④責任者氏名	近井　清香	（役職名等）	理事長
⑤担当者氏名	近井　修	（役職名等）	事務局長

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R06-026	⑦助成金額	25 万円	⑧申請カテゴリー	D
⑨奨学活動名	発達に特性がある中学生の「普通高校に進学したい」という夢を応援!!　高校受験に向けた学習環境の整備事業				
⑩主な実施場所名・及びその住所	北海道北見市とん田西町 216-16 にある放課後等デイサービス事業所２階学習室				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式３-２】又は別添資料にて記載・説明ください。）

・活動の目的や内容

発達に特性がある子供達の学力不振を改善し、自己肯定感を高め自信を持って学び続けることを促すことで、それぞれが希望する進路に進めるようにサポートをしていく。

・参加人数

放課後等デイサービス事業所に通所をしている中学生８名

・活動成果

学習支援を受けることで理解が深まり、テストの成績や全体的な学力の向上が見られた

・購入した主な物品

学習に対応した専門書及び学習室の拡充を図る改修工事費用

・活動から得られたものや反省点等

学習に対する不安が軽減され自己肯定感が高まり自信の向上が見られた

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式３-２等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 （Ａ：人）	平均時間 （Ｂ：時間）	活動量 （Ａｘ Ｂ）	備考・補足・計算根拠等
中学生等	580	1.5	870	令和６年８月から令和７年３月の実績記録票に基づき作成
高校生等				
大学生等				
学習支援員等	392	3	1176	令和６年８月から令和７年３月の出勤簿及び業務日誌に基づき作成
その他				
合　　計			2046	

⑬その他の定量的な数値（任意）

【様式３-２】

令和６年度伴走型就学・学習支援活動助成　実施詳細報告書

奨学活動名：

法人・団体名：特定非営利活動法人 cocoro 会議
作成者　氏名：近井　修

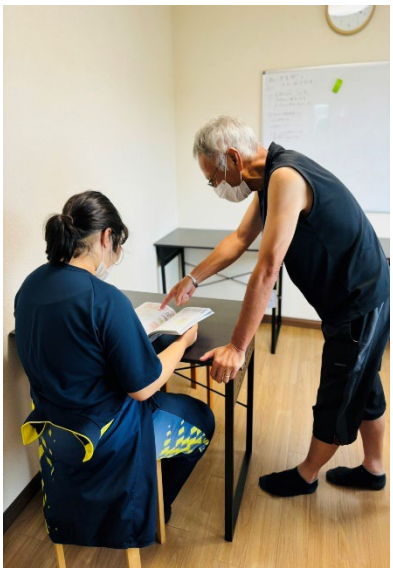
１．取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

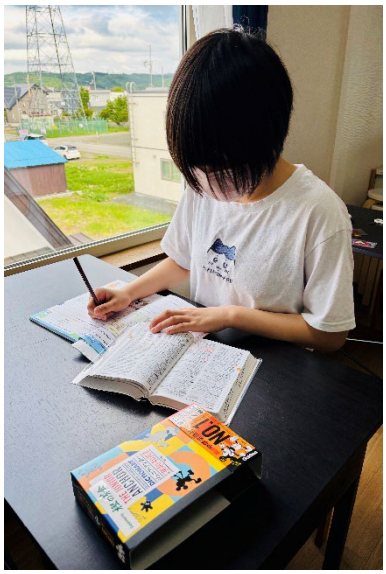
発達に特性がある子供達は、学年が上がるごとに「学習の遅れ」や「つまずき」が原因で自己肯定感が低下していく傾向にあります。そこで、私たちは運営をする放課後等デイサービスにおいて、発達に特性がある子供達の学力不振を改善するために、障害特性に合わせた工夫や適切な学習指導を提供し、彼らの「学びたい」という気持ちを応援するため、通所をしている中学生の高校受験に向けた学習環境の整備を行いました

２．実施した奨学活動の詳細

・活動内容の詳細

学習支援の対象となる子供達と話し合い個別の目標設定を行うと同時に、学びの一貫性を保つ目的で保護者と連帯し自宅での様子や支援状況を共有しています。学習支援の内容としては、まず学力不振を改善する目的で基礎学力の習得を目指しました。具体的には現在の学年の内容を教えることだけでは子供達の理解が追い付かず学習に対する苦手意識を助長する可能性があったため、それぞれの理解度に合わせた教材を使い子供達が「わかった」「できた」と感じられる場面を意図的に増やしながら、学びに向かう力を育てることを意識しました。またそれぞれの得意科目からアプローチし学習意欲の向上を図りつつ、同じ形式の問題を繰り返し知識の定着を図っています。最後に定期的な振り返りを行い、何ができたか・次に何をするかを確認しながらそれぞれが希望する進路に進めるようにサポートをしました。





・参加人数

放課後等デイサービス事業所に通所をしている中学生８名
(中学１年生:３名　中学２年生:４名　中学３年生:１名)

・周知方法

対象となる中学生の保護者の方へ個別に連絡をしています。

・地域やボランティア活動との連携

北見市内で学習支援を行っているボランティア団体の方を招き、運営方法や具体的な支援内容に関する話を伺う機会を設けました。また学習支援活動に関心のある福祉事業所等からの施設見学を複数回受け入れています。また英語学習に関しては、不定期ではありますが神奈川県在住でカナダに留学経験のある女性ボランティアの方とＺＯＯＭを使い英語の発音や会話練習を行っています

・学習支援員について

放課後等デイサービス事業所職員３名及びボランティアスタッフ２名の合計５名で行いました。
※教員免許を持つ放課後等デイサービス事業所職員１名・社会福祉士有資格職員１名・児発管有資格職員１名・趣旨に賛同していただいた元教員ボランティア１名(のちに非常勤職員として採用)及び ZOOM で参加していただいた英語ボランティアスタッフ１名

・購入した機材・物品の写真

※購入した専門書の左下にシールを張らせていただきました

※学習室の本棚に収納しています

※学習室工事前の様子

※押し入れを撤去し外の部屋から学習室に出入りできるように扉を設置しています

※改修工事後の学習室を外の部屋から見た様子

※扉の右上にシールを張らせていただきました

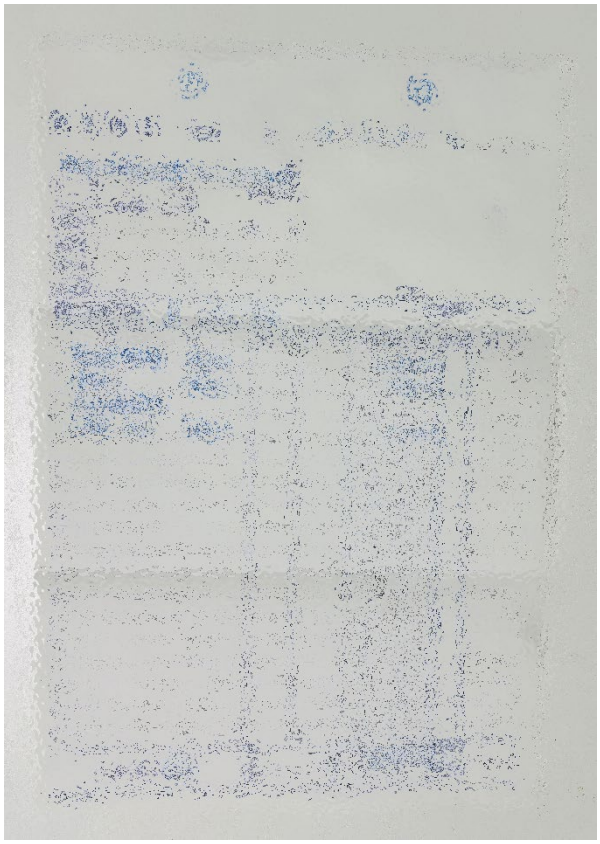
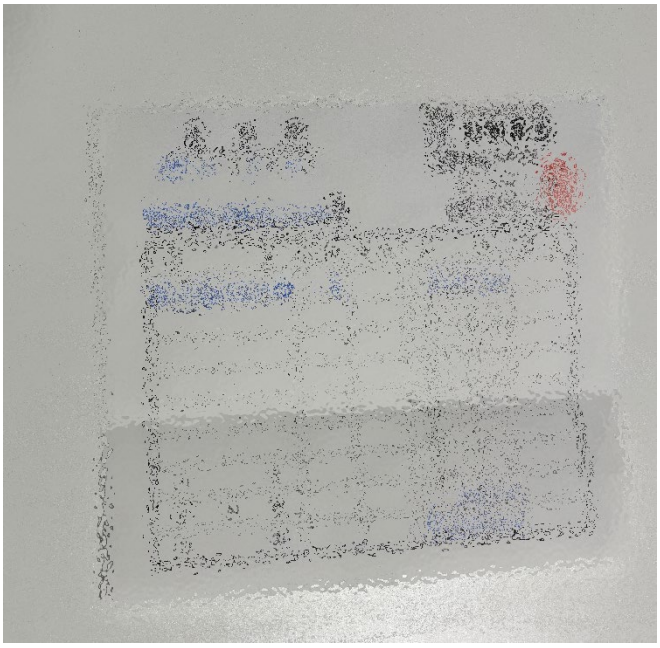
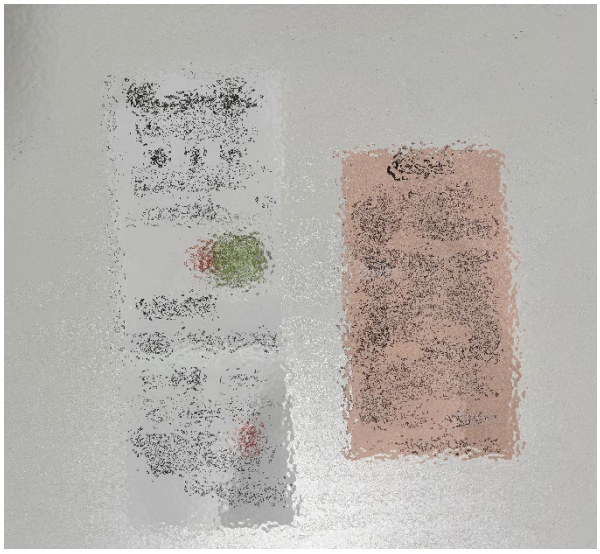
３．本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

学習支援の対象となる子供達全員の全体的な学力の向上や、スタッフとの話し合いを通じて学習計画の立て方及び時間の使い方等を学んだことで時間管理能力の向上が見受けられました。また学習支援を行うことで学習の土台を整え、少しずつ「できた」という成功体験を積むことで、学習に対する不安が軽減され自己肯定感が育ち、「チャレンジしてみよう」という前向きな気持ちを持つ子供たちが少しずつ増えてきたように思います。反省点としては、放課後の限られた時間内で学習支援とほかの活動を両立させる必要があるため時間的な制約がありました。また課題として、発達に特性のある子供達は一人ひとりに異なる学び方の特性を持っており、子供達が安心して学びに取り組めるようにそれぞれに合った個別学習支援の工夫に苦慮しています。

４．本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

「やる気スイッチが入ったー」と言いながら、笑顔で中学校の定期テストの結果を報告に来た彼女は、学習支援を受ける前より５教科の総合得点がなんと１００点も上がっていました!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
そんな彼女と一緒なり大喜びをしたことは私たちスタッフの大切な思い出の一つです。
発達に特性がある子供達にとって、学習支援は単なる知識の伝達ではなく、自分にも価値があると感じる重要な機会であると思います。学習面での小さな成功体験の積み重ねは、子供達の自己肯定感を育て、それが将来の社会的な自立につながることを願い、支援者としてこれからも子供達に寄り添う存在でありたいと思います。

※学習の合間にみんなでカードゲームをしている様子

・その他

C 活動会計報告の【収入・支出の差額に関する説明等】の補足資料になります